

JENESYS2024 日本・東ティモール文化交流（日本語学習者招へい）
JENESYS2024 日本・フィリピン高校生交流（テーマ：日本語・日本文化）の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】日本文化への関心が高く、日本語を学んでいる東ティモールとフィリピンの高校生、大学生、社会人が 10 月 22 日～10 月 29 日まで訪日し、日本語の学習意欲を向上させ、日本への親しみを醸成することを主目的として、日本人と交流しました。一行は東京都と広島県を訪問し、視察、学校交流、ホームステイ等を行い、日本文化や日本語における学びや気づきを SNS 等を通じて発信しました。

【参加者】東ティモールの大学生、社会人 5 名
 フィリピンの高校生 4 名及び引率 1 名 合計 10 名

【訪問地】東京都 10 名、広島県 10 名

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）:

10 月 15 日（火曜日） 【来日前オリエンテーション】
 【日本理解講義】「日本の社会と文化」
 講師：JICE 日本理解講義講師 アンドラディ 久美 氏

来日までの指定期間 【課題学習（動画配信）】「事前オリエンテーション」「日本理解講義」「ホームビジット体験」「南三陸町からのメッセージ」「日本文化理解（京都）」「広島ピースツアー」「日本語」

■ 招へいプログラム:

10 月 21 日（月曜日） 羽田空港より入国（フィリピン）

10 月 22 日（火曜日） 成田国際空港より入国（東ティモール）
 【来日時オリエンテーション】
 【視察】浅草寺

10 月 23 日（水曜日） 【テーマ関連視察】amps 国際アニメ学院（パイオニアプロダクション）
 【テーマ関連講義】「日本語レッスン」
 講師：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）
 多文化共生事業部 日本語教育課 日本語講師 仁谷 沙耶香 氏

10 月 24 日（木曜日） 東京都から広島県へ移動
 【学校交流】比治山大学・比治山大学短期大学部
 【テーマ関連視察】ポップカルチャーひろしま事務局、コスカレード
 【視察】広島平和記念資料館・広島平和記念公園

10 月 25 日（金曜日） 【表敬訪問】北広島町 副町長 畑田 正法 氏

	【ホストファミリー対面式・ホームステイ】
10月26日（土曜日）	【ホームステイ】文化体験含む
10月27日（日曜日）	【ホームステイ】
	【ホストファミリー歓送会】
	【視察】宮島・厳島神社
	【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、SNS 発信状況等確認、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）
10月28日（月曜日）	広島県から東京都へ移動
	【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画発表
10月29日（火曜日）	成田国際空港より出国

2. 記録写真

プレプログラム（オンライン事前学習）

	
2024年10月15日【来日前オリエンテーション】	2024年10月15日【日本理解講義】 「日本の社会と文化」

招へいプログラム

	
2024年10月23日【テーマ関連視察】amps 国際アニメ学院（パイオニアプロダクション）	2024年10月23日【テーマ関連講義】 「日本語レッスン」



2024 年 10 月 24 日【学校交流】
比治山大学・比治山大学短期大学部



2024 年 10 月 24 日【テーマ関連視察】
ポップカルチャーひろしま事務局、コスカレード



2024 年 10 月 26 日【ホームステイ】



2024 年 10 月 27 日【ホストファミリー歓送会】



2024 年 10 月 27 日【視察】宮島・厳島神社



2024 年 10 月 28 日【報告会】集合写真

3. 参加者の感想（抜粋）

◆ フィリピン 高校生

東京でのツアーから始まり、日本の時間の流れの速さに本当に驚きました。日本全体が、あらゆる場面において時間に正確であることを重視しているため、時間厳守を重んじる日本人の姿はとてすばらしく、私も時間を守ることを大切にする人になろうと思いました。

さらに、広島県の比治山大学での交換留学プログラムはとても楽しかったです。みんなとても優しく思いやりがあり、私が言っていることがうまく伝わらなくても、いつも理解しようとしてくれるところに好感を抱きました。

最後に、ホームステイは私にとって特別な体験でした。日本の家庭に滞在し、共に日常生活を送ることができたことは、本当に楽しく、この世のものとは思えないような経験でした。

私のホストファミリーではとても親切で気遣いがありました。彼らは野菜、肉、牛乳など、あらゆるものを自給自足で暮らしており、とても感心しました。滞在中、北広島の夜空の下で星を眺める機会にも恵まれ、自分自身について多くのことに気づかされました。文化や言語、歴史や生活様式も含め、すべてにおいて日本の在り方に本当に感銘を受けました。

◆ **フィリピン 高校生**

私にとってのプログラムの最大の成果は、学校交流でした。学生たちの温かさとおもてなしの心に深く感銘を受けました。彼らは心から優しく迎えてくれ、すぐにくつろげる雰囲気を作ってくれました。そこで国境を越えて友情を育むことができたことは、意義あるつながりを築く上で人種や生い立ちの違いは問題にならないことを証明してくれました。この経験を通して、私は新しい友人を得ただけでなく、文化を超えた一体感と受け入れの意味をより深く理解することができるようになりました。

◆ **東ティモール 大学生**

日本は清潔で、先進的な技術を持つ国であることを直接この目で見ることができ感銘を受けました。交流を通じて、日本の教育が大変優れていることと、日本はアニメの制作において非常に創造的な国であることを知りました。帰国後は参加者全員でアクション・プランを実施して行きたいと思います。

◆ **東ティモール 大学生**

プログラムで最も良かったのは広島平和記念資料館の見学で、原爆が投下された当時の写真等を見て、非常に心に残りました。また、文化的な交流もとても良かったと思います。今回の経験について、SNSでの発信もより積極的にやりたいと思います。アクション・プランの実施については、ごみのポイ捨てをしないよう自国の人々に働き掛けることに力を入れたいと思います。

4. **受入れ側の感想（抜粋）**

◆ **講師**

参加者の皆さんが日本と日本語に強く興味を持ってくださることを実感しながらのレッスンでした。来日から間もない中で疲れもあるところ、とても元気に参加してくれて、こちらのほうがエネルギーをいただきました。学習内容、活動、どれに対しても反応がよくありがたかったです。このレッスンを通じ今回の学習へのモチベーションをさらに高めてくださっていると嬉しいです。

◆ **交流校関係者**

訪日団の方々が熱心にメモをとる姿がとても印象的でした。また、本学の学生もいつもに増して積極的に交流を行っており、刺激をいただくことができました。自身の活動を、海外の方々が興味を持ってくださる体験も初めてだったので、自信につながったようでした。今度もこのような交流プロジェクトに組み入れていただけると嬉しいです。

◆ **ホストファミリー**

言葉の壁が心配でしたが、みなさん日本語が話せたので、あまり通訳機は使用せずに交流できました。こちらの一言一句に頷きながら話を聞いてくれたので、とても安心しました。ホームステイ中、異文化交流としてお寺にお参りをしました。お参りされている地域の方から、ちらほらと声をかけていただき、今までにない交流ができたと思います。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

<p>DAY 3 (2024.10.24) //</p> <p>We went to Hijiyama Daigaku and were able to socialize with students as well as learn more about schools in Japan. We learned about the courses they offered in the school. Speakers also taught us about Japanese arts like their anime and Kagura, a Shinto dance where people wear beautiful handmade costumes and masks and tell a story.</p> <p>Everyone in the school was so nice and I really enjoyed it. I'm glad I was able to meet everyone. たのしかったです！</p> <p>#jenesys_asean</p> <p>翻訳を見る</p>	
<p>2024 年 10 月 24 日（Facebook）</p> <p>フィリピン 高校生</p> <p>プログラム 3 日目</p> <p>比治山大学に行き、学生たちと交流し、日本の学校について学ぶことができました。学校の学部を知りました。また、アニメや神楽といった日本の芸術についても教えていただきました。学生のみなさんは良い人ばかりで、本当に楽しかったです。お会いできて光栄でした。たのしかったです。</p>	<p>2024 年 10 月 22 日（Facebook）</p> <p>東ティモール 大学生</p> <p>日本でのプログラムを頑張っています。東京の観光名所を訪れました。</p>
<p>2024 年 11 月 5 日（在フィリピン日本国大使館の Facebook）</p> <p>10 日間の訪日を終え、フィリピンの高校生が無事に帰国したことを紹介。</p>	<p>2024 年 11 月 8 日（比治山大学・比治山大学短期大学部のサイト）</p> <p>外務省推進事業：対日理解促進交流プログラム「JENESYS」に参画しました。</p>

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、広島県 全2グループ発表

東ティモール



【成果の発表】

◆ プログラムでの学び：

訪日前に日本についてイメージしたのは、音楽、食べ物、広島・長崎への原爆投下、歴史的な名所等に関するものでした。また、日本人に対して、大変親切である、規律正しい、勤勉、友好的というイメージを持っていました。

訪日後、日本を実際に見て驚いたのは、大変美しい国であるということと、アニメや漫画で見た通り、とても創造的で技術が進んでいるということでした。また、教育面においては、東ティモールでは理論中心の授業であるのに対し、日本では実践的な教材が用いられていることや、時間厳守を非常に重んじていることを学びました。

◆ 日本語・日本文化の学び：

日本語については、場面や状況に応じて言葉を使い分ける等の日本語のコミュニケーション方法について新たに学びました。

日本文化については、日本には主要な宗教として神道と仏教があること、日本人はとても清潔で、法律の遵守を大変重んじることを学びました。

【アクション・プラン】

グループ全員で、2024年11月から2025年1月までの間に、日本語学習者に対して、私たちがこのプログラムで得た経験を共有するための交流活動を行います。ディリにある日本語学校10校に週に一度訪問し、パワーポイントで作成した資料と写真を見せながら、私たちの経験を紹介します。

フィリピン



【成果の発表】

◆ プログラムでの学び：

ライフスタイル：日本人は秩序だった規律正しい生活をしており、食事の前には必ず「いただきます」、食後には「ごちそうさまでした」と言い、日常生活の中でいつも行っている習慣のようでした。

宗教： 仏教と神道という二つの大きな宗派が存在しています。

国民性： 日本の人々は時間に正確で、規律正しく、謝る際にはとても誠意をもって謝ります。

◆ 日本語・日本文化の学び：

まず、日本語で話すときは、ほとんどの場合、改まった調子で、完全な形で話すものと教えられました。また、日本語の単語は全部をきちんと話すものです。しかし、交流プログラムを終えて、私たちは、北広島市と東京では話している言葉が違っていることに気がつき、方言があることを学びました。さらに、年齢による話し方の違いにも気づきました。若い人と話すときにはカジュアルな話し方だと教わりましたが、実際には、ある程度はかしこまった話し方であるべきだということを知りました。

【アクション・プラン】

プログラム参加者全員で月に1～2回、3か月間、それぞれの高校の生徒に向けて、自分たちの経験や知識を以下の方法で伝えます。

- ・授業で自分の経験や知識を披露・説明することで、外国の学生の視点をもって日本の仕組みを説明し、日本や日本の文化、言語について、もっと知りたいと思ってもらえるよう生徒たちの興味・関心を引き出します。
- ・クラブの行事でテーマに沿ったブースを作り、日本語クラブで日本での学びを発表します。また、学校新聞に特集記事を掲載し、自分たちの経験や日本の魅力を全校生徒に知ってもらいます。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）